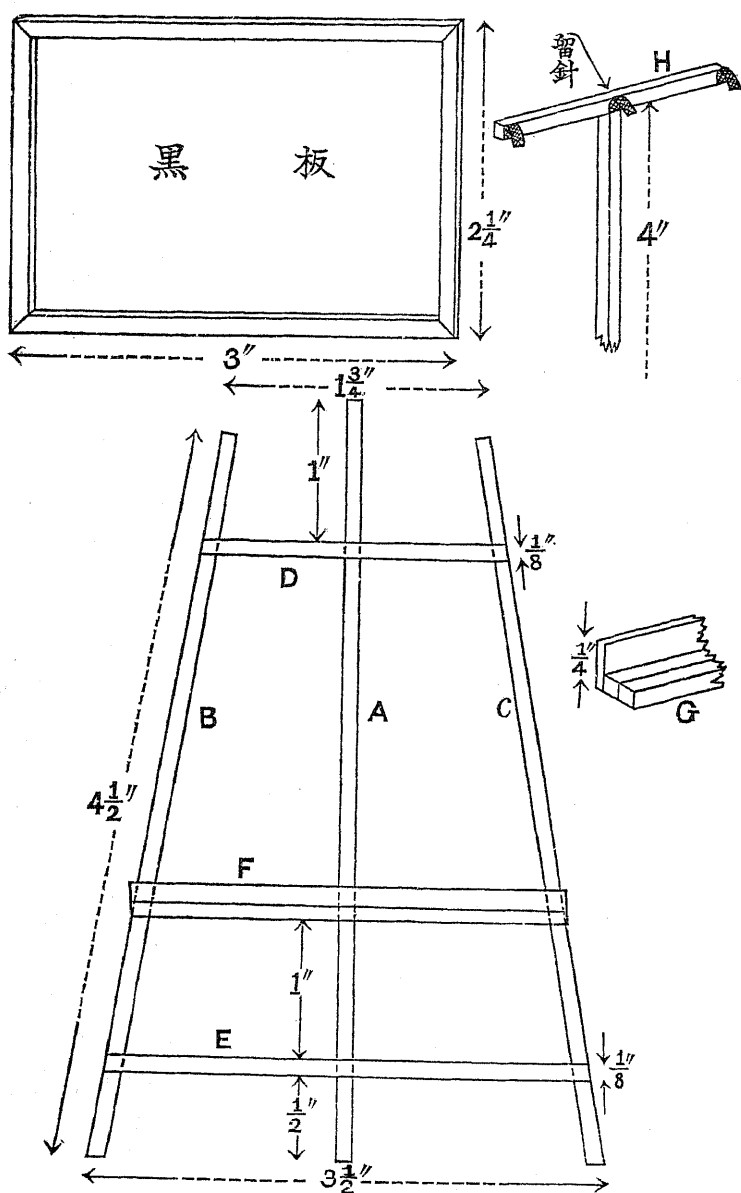


家庭教育 手工應用 玩具の造り方

第三十五圖 黑板

藤 五代 策 譯



燐寸棒²²のもの二本と²¹のもの二本とを作りて各其の兩端を削りて、幅²¹長³³の平板の四邊に附着する。此の平板は墨か何かで黒く塗ると具合がよいが、さもなくば黒色の板紙又は紙石盤の毀れたのを代用しても宜しい。一寸注意して置きますが此の四本の燐寸棒は平板に附けると同時に其各の四隅も膠で附けねばならぬ。

今度は黒板立。燐寸棒²⁴のものを三本造りて、机の上にA B Cの如く頂を²⁴隔て、下部を³²隔て、並べる。中の棒の頂から¹隔てた所に幅²¹に裁ちたる平板Dを膠で附ける。同じく中の棒の下端から²¹を隔てた所に前と同じ幅の平板を着ける。次に此の横棒から¹隔てた所に黒板を載すべき棚を拵へるのである。即ち此の點に於ける差渡しを度りて、其の寸法によりて燐寸棒を二本造り、別に之と同じ長さで幅²¹の平板を一枚造る。そこで此の二本の燐寸棒を膠でビタリと附けて、之にG圖の如く平板を貼りつける。出來上つたならば

之をFの位置に取りつけるのである。

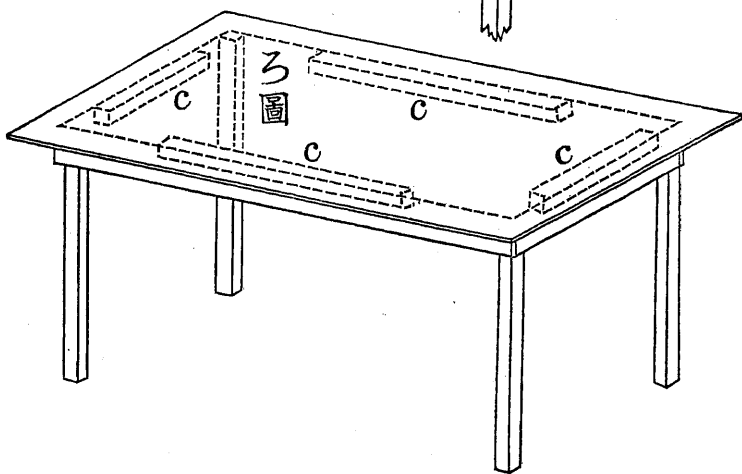
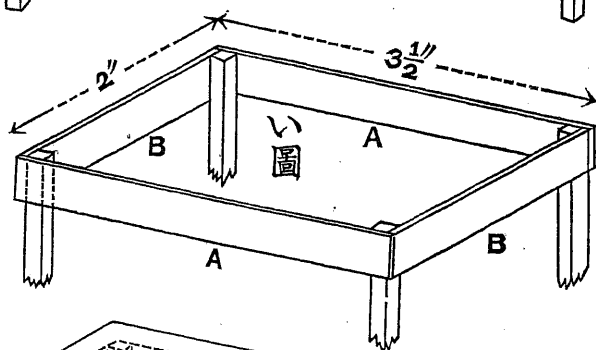
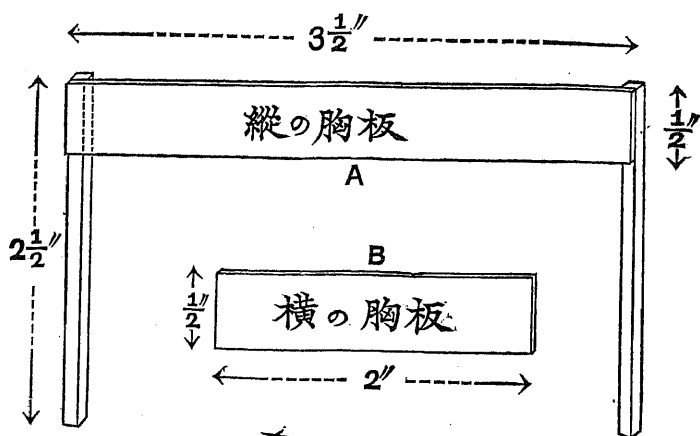
次は黒板立の支脚。燐寸棒長さ²⁴のもの一本とDなる横棒と同じ長さのを一本(H)を造り、之を圖の如く丁字形に附着して、Hの上から脚に通して留針を一本打ち込む。それからテープ又は地の硬い布片を長さ²¹に裁ちたるものを三つ造りて、之をHの兩端及中央に貼りつける。それが乾いたならば此布片をDなる横棒の丁度裏の所でA B Cの柱に貼りつけるのである。脚が餘り擴がり過ぎたりなんかすると悪いから支脚及Aの下端を程良き長さの糸で繋ぎ合しても宜しい。

第三十六圖 卓子(長方形)

四本の脚には各²¹長の燐寸棒を用ふる。次に平板を長さ²¹幅³³に裁ちて卓子の板に當てるのである。

平板を幅²¹に裁ちて、之から長さ³³のもの二枚を切り取りて縦の胸板となし、又²¹のものを二枚切りて横の胸板に用ふるのである。

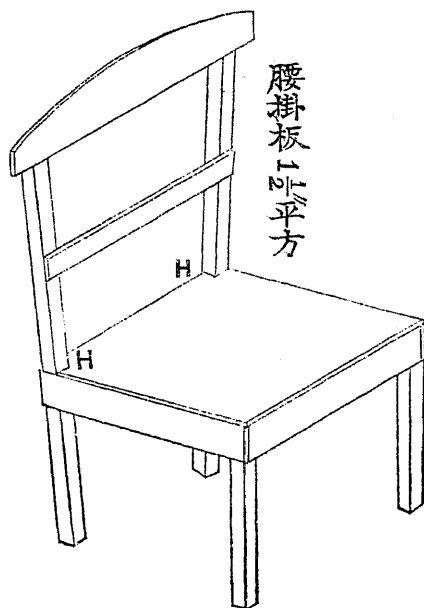
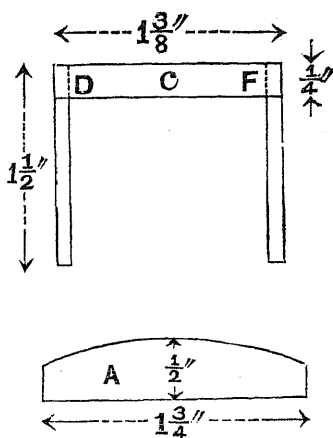
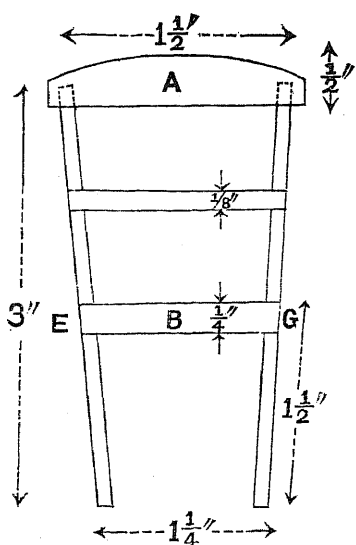
そこで机の上に脚を二本平行に並べてA圖の如く之に縦の胸板を貼付け、他の二本の脚も同じや



うに貼りつける。それからBなる横の胸板を取りて「い圖」の如く枠形に付ける。之で骨組だけは立

派に出来上つた譯である。

此の杵の上面に満遍なく膠を塗りて前に造つて置いた廣い板の上に杵を倒様に持つて、一方に傾寄つたりなんかしない様に、靜に板に壓しつける



腰掛板 12 平方

のである。又隣寸棒を適宜の長さに切りて〇の如く板の裏面と胸板とに貼付くれば卓子がもつと堅牢になる。

茲に示した寸法は次ぎの第三十七圖の椅子と釣

合せたものであつて勿論もつと大きく造つても宜しいのである。

第三十七圖 椅子

燐寸棒を長³³のを二本と¹¹のを二本とを切りて、長い方は後脚短い方は前脚に用ふるのである。先づ長い方のを机の上に並べて上部は¹¹、下部は¹¹の間隔を明けて置く。平板を長¹¹、幅¹¹に裁ちてAの如き形となし之を圖の位置に貼付ける。下端から¹¹隔てた所に印を付けて、¹¹幅の平板をの如く貼付ける。それからAとBとの中央に幅¹¹の平板を貼りつけるのである。之で椅子の背部は出来上つた。

次は短い方の二本の机の上に平行に並べ其の間隔を¹¹として置いて平板を長¹¹、幅¹¹に裁ちてCの如く棒の上端に貼りつける。そこで前後の脚が出来上つたならば、平板を長¹¹、幅¹¹に裁ちたるものを二枚造りて、之を結合せねばならぬ。即ち此の二枚の板を以てDとE及びFとGとを結合す

るのである。勿論BC及び此の二枚の板は腰掛板の支へになるのであるから皆な水平にならなくてはならぬ。今一つ注意せねばならぬ事は、此の二枚の板を付ける時に少し手加減を加ふれば脊が反れて眞物の椅子によく似る様になることである。次に平板を¹¹平方に裁ちて腰掛け板となし、後脚に接する部分Hの所を削り去りて、然る後に之を貼りつけるのである。

又前の第三十六圖の卓子の如く裏面に燐寸棒を貼り付くればもつと堅牢になる。

保育と自然知識

神戸幼稚園

神戸幼稚園にては野外保育に就て種々研究の結果、幼児に適當せる動植物を季節に従ひ凡そ左表の如く豫定し、これに従ひて野外に於ける實際の觀察を充分有効ならしむるよう類りに考究實行せられつゝあり。植物動物の種類は地方々々によりて多少の別もあるべく、又季節の差もあるべきなれども、大體に於ての參考となすを得べしと思ひ、左にそのまゝを掲載したり。尚ほ同園長望月くに子比は動植物に就て保母自らに豊富なる興味